

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	地域で展開する健康づくり	担当者	民生課	健康増進係
-------	--------------	-----	-----	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村／福祉・健康・医療の充実／健康づくり
関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)
根拠法	健康増進法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	全村民
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明 <input type="checkbox"/> 事業の終期 <input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	身近な地域から健康づくりの輪が広がり、毎日元気で生活できる。					
具体的取組	保健委員会の開催…保健委員の健康学習と健康常会の開催 健康づくり講座…地区公民館と協力した健康学習、成人向けの健康講座 健康全員常会…部落単位での健康学習会 トリプルAサポート事業…自主的に行う健康づくり事業へ補助 家族健康フェスティバル…地区公民館と協力した健康イベント(2地区) 65歳・75歳健康教室…65歳・75歳の誕生日を迎える方を対象とした健康教室(月1回)					
実績・効果	保健委員会では、県大会であち健康プラン21に基づいた寸劇を行い、この寸劇を健康学習に利用するなど、村民の話題となる活動ができた。 はじめて開催した家族健康フェスティバルでは、実施地区の皆さんの協力により多くの来場者に恵まれ、健康意識向上、健診受診の啓発を行うことができた。 65歳・75歳健康教室では、65歳の皆さんに介護保険制度、75歳の皆さんに後期高齢者医療制度についての案内と健康学習を実施し、それぞれの制度について理解が深まった。欠席者は、可能な限り訪問を行った。					
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	保健委員報酬	517				
	健康づくり講座等報償費	134				
	トリプルA補助金	1,127				
	家族健康フェス委託料	1,274				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	6,456	2,779	3,052	3,363	3,363
	うち一般財源	6,456	2,779	1,778	2,163	2,163
	うち補助金			1,274	1,200	1,200
	うち個人負担					
	従事職員(人)	正規職員				
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	健康づくりに対するニーズは高い。	A
	手段、成果は妥当か	a	地域の実情に沿った健康づくりを進めるのに効果的	
	対象者の設定は妥当か	a	全村民を対象としている	
	村の関与は妥当か	a	他に担う機関がない	
有効性	期待された効果が得られたか		地域での事業が増え、村民が参加意欲が高まっている	A
効率性	コストの削減に努めたか	a	有利な補助金を活用	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	効率性を求めることは難しい	
公平性	受益者負担は適切か		材料費等は個人負担。	A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	あち健康プラン21の推進による、健康意識の向上
今後の取り組み	部落ごとの健康常会や、地区公民館等の地区組織と連携した住民と行政の距離感の近い活動を引き続き重視する。